

市議会12月定例会

平年よりやや小ぶりでした。りんごは11月の降ひょうにより、押し傷や裂果等約1,000万円の被害が発生しています。米の生産調整は、本年度は1、

67・8%が就職内定

10月末現在、ハローワーク大館管内の平成15年3月高校卒業予定者の就職内定率は、全県平均の43・2%に対して、県内の地域別で最も高い67・8%となりました。この厳しい雇用情勢の中で、昨年同期と比べて6ポイント上回っています。

これは、各高校就職指導担当者、ハローワーク及び行政などで組織する高等学校職業指導連絡会議を定期的に開催し、細かな情報交換を行ったほか、菱山製薬(株)を始めとする企業誘致により、求人枠が拡大されたことによるものと考え

248haの面積配分で、一律34・2%の転作率でお願いしたところ、目標を達成できる見込みです。ご協力をいただきました農家の皆様に、心から感謝申し上げます。

来春高卒予定者の状況

ています。

また、各企業に対して選考結果の早期通知を要請したことや、ハローワークによる各企業への求人ローラー作戦の実施、さらには、就職戦線に危機感を抱いた各学校がPTAや同窓会の組織を活用して独自に求人開拓に努めたことなど、進路希望達成に向けてのきめ細かな取り組みが功を奏したものと受け止めています。

今後、ハローワークなど関係機関と連携を取りながら、就職希望者全員が働く場を確保できるように、引き続き努力していきます。

にぎやかに幕を閉じました

第5回大館圏域産業祭

「大館圏域産業祭」は、今年で5回目を迎え、10月26日、27日の2日間、大館樹海ドームを会場に開催されました。期間中は、県北部のみならず、青森・岩手両県からも多数の来場者があり、大盛況のうちに終了しました。

会場では商工展や圏域交流展、



おおだて特産品開発コンクール
最優秀賞
「まるごと大館みそつけタンポケーキ」

農産物展示が行われた農業展のほか、菊花展、フリーマーケット、中古車フェアなどが開かれました。特に、初めて開催した特産品開発コンクールでは、菓子類などアイデアをこらした創作品を郷土産品

忠犬八千公が取り持つ縁

東京都渋谷区は、本年、区制施行70周年を迎えました。これにもない、記念式典や記念事業などを通じ、本市との新たな交流が行われました。

10月1日の70周年記念式典では、渋谷区での地域文化の振興などに協力したとして、市民を代表して表彰され、記念章を受賞しました。また、渋谷区立松濤美術館の「友好都市ゆかりの美術展」には、郷土博物館所蔵の福田豊四郎作「闘犬の日」の屏風絵6曲1隻を出展しました。

として展示し、会場は終日参観者でにぎわいました。また、ステージでは、大正琴やフラメンコ、歌謡サークルなどの圏域住民のグループが日ごろの成果を発表、大いに好評を得ました。

渋谷区との親善交流



「ケヤキ」の植樹

「大館駅前八千公ひろば」に植樹されました。一方、大館市からは「オオヤマザクラ」の成木を贈ったところ、11月にオープンした渋谷区内「さくら公園」に植樹されています。

これからも、こうしたさまざまな行事や事業を通じて渋谷区との親善交流を深めていきます。

そのほかの報告

㈱イトウ再生計画の認可

秋の各種まつり行事開催

第9回首都圏大館ふるさと会総会の開催

水道課の移転

水道課の移転

大館市立総合病院増改築事業に係る基本設計の契約締結

公共事業の進行状況

公共事業の進行状況